



社協

# まつもと

2020  
1月  
No.224



私にもできる安全・安心な地域づくり

波田デイとみつば保育園との交流 2ページ



謹んで新春の  
お慶びを申し上げます

令和  
二年



被災地支援ボランティア 3ページ



四賀地区ボランティア感謝祭の  
体操の一幕 2ページ



「就労センター・はた」の焼き芋販売 4ページ



被災地復興講演会 3ページ

# 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より当会の事業推進にあたり、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は超少子高齢型人口減少社会の進展により、地域社会が大きく変貌する中で、複雑多様化した福祉課題が顕在化するなど、非常に厳しい年となりました。地域福祉等を推進する中核的な社会福祉法人である当会としましては、このような状況に的確に対応し、「誰もが安全・安心に暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりました。

特に、行政の委託を受け、四年計画での各地区への地区生活支援員の配置事業が始まり、初年度として七地区への配置を行いました。各地区内での住民要望等を把握し、いかに地区内での課題を解決するか、地区の皆様のお恵をお借りしながら今後とも積極的に取り組んでまいります。また、昨年は全国的に自然災害が多かった年であり、特に長野県は



松本市社会福祉協議会  
会長 渡辺 聡

じめ東日本では、十月の台風十九号により大規模な災害が発生しました。県内では、東北信地方が千曲川等の氾濫により大きな被害を受け、その復旧支援等のため、大勢のボランティアの皆さんが現地へ駆けつけ、復旧作業に従事をいたしました。

当会としても、県社協等との災害時応援協定等に基づき、職員を断続的に派遣するとともに、市民ボランティアの募集等を行うなど、被災地支援のために積極的な取り組みをしてまいりました。松本市においても、災害がいつ発生するかわからないことから、今回の応援派遣等による災害時対応をしっかりと検証し、有事に備えてまいりたいと考えております。

様々な課題を抱える中で、この一年間、当会の役職員が一九となって取り組んでまいる所存ですので、市民の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして、ご健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申しあげ、年頭のごあいさついたします。

## 波田デイサービスセンターとみつば保育園との交流会

### 波

田デイサービスセンターふれあいでは、10月30日と31日に毎年恒例のみつば保育園との交流会が行われました。透きとおった秋空の下、にじ組さんとほし組さんの可愛い訪問でした。前半は園児たちの歌に癒さ

れ、迫力あるよさこい踊りに驚きました。後半は利用者さまと園児でゲームを楽しんだり、一緒に歌合戦をしたりと、充実した時間を過ごしました。この交流会で、園児の皆さんから、たくさんのお褒め言葉をいただきました。

### 四

賀地区では11月10日、日頃ボランティア活動をしていただいている皆様や農産物などをご提供下さる地域の皆様へ感謝の気持ちを込めてボランティア感謝祭を開催しました。災害医療や日頃

新鮮な食材を使った職員手作りのおでんやかぼちゃサラダなどの料理を頂き、心も体も満腹となりました。

## 四賀ボランティア感謝祭

のご近所付き合いの大切さを学ぶ講演に引き続き、体づくりサポーターの皆さんによる体操から元気をいただきました。最後にはデイサービスセンター直営の農場で採れた



## スマホを用いた

### みまもり体験

## 本

郷地区の地域ケア会議は、スマートフォンを用いた「みまもり体験」を行いました。見守られる人は電波を発する機器を持ちながら町を歩き周り、見守る人はその機器の電波を拾う専用アプリを使って探し出すというものでした。今回の体験では、対象者を探し当てるまで15分ほどかかりましたが、地区内には人気の少ない小路や空き家・田畑等が多く、機器だけで探し当てる困難さを感じました。また、隣近所での見守りの必要性を理解できる会議となりました。



## 災害

### ボランティア

## 支援

## 台

風第19号の被災地への社協の支援として、市民ボランティアを募集し長野市の被災地支援を行いました。これは平日、職員が社協の車輛を使用し、長野市への市民ボランティアの送迎と被災地支援活動を行うものです。作業内容は、泥の撤去、浸水を受けた畳の搬出や家財道具の片づけなどです。大変な作業にもかかわらず、連日ボランティアの皆さんが積極的に参加してください、10月28日～11月29日のうち平日23日間で職員含め延べ189名でした。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

## 災害・復旧支援

## 台風19号災害チャリティバザーを開催

11月2日、台風19号災害の被災地支援を目的にチャリティバザーを市役所四賀支所で開催しました。陶器や服などのたくさんのお土産が並び、バザーが始まると大勢の人が来場されました。

今回の収益金の25万円余りを、義援金として日本赤十字社長野県支部に寄付しました。

会場を訪れた70代の女性は「現地へ行ってお手伝いは出来ないけれど、バザーを通じて少しでも役に立ててもらえれば」と話していました。



## 被災地復興活動から学ぶ“地域づくり”

11月11日、勤労者福祉センターで「被災地復興活動から学ぶ“地域づくり”講演会」を開催しました。

こと、そして情報収集・発信、人員・物資の協力依頼等におけるSNS（フェイスブックやツイッター）活用の有益性などを学ばせて頂きました。

講師は広島県議会議員で元消防署員の平本英司先生。ご自身が経験された広島県での豪雨災害における避難・救助活動や復興活動についての貴重なお話をいただき、普段の人間関係を大事にする



講師の平本先生



## 日赤・共同募金・社協世帯会費にご協力いただきありがとうございました!

日本赤十字社の活動資金、赤い羽根共同募金運動、そして松本市社会福祉協議会の活動へご協力をいただき、誠にありがとうございました。資金は下記事業に大切にに使わせていただきます。

### 日赤活動資金

- 各種講習会 (救急法など)
- 赤十字奉仕団の活動費
- 災害支援などの国際活動 など



### 赤い羽根共同募金

- 地区社協の福祉活動に分配
- 車いす・福祉自動車の貸出
- 広報誌「社協まつもと」の発行
- 松本市社会福祉大会の開催 など

実績額 2,341万955円\*

### 社協世帯会費

- 地区社協への活動費還元
- 地区活動の推進を支援(支援金事業)
- ふれあい・いきいきサロン事業 など

実績額 2,312万3,000円

\*令和元年11月30日現在



## 石焼き芋の定期販売をしています



寒い冬にはホックホクの焼き芋が一番! 障がい者就労センター・はたで作ったアツアツの石焼き芋をどうぞ。また、社協ではパンをはじめクッキーやスツール、刺し子ふきんなど様々なものを製造販売しています。ぜひお立ち寄りください。

- 場所: 松本市波田西部保健福祉センターふれあい正面玄関  
\*天候により障がい者就労センター・はた入口の場合もあり。
- 日時: 令和2年3月までの毎週(土)または(日) 10:30▶14:00  
(祝・祭日・年末年始は休み)  
\*注文は当日10時までをお願いします。
- 価格: 1本 約 150円~200円  
\*計り売りになるため、価格は目安です。
- 問い合わせ: 障がい者就労センター・はた (TEL: 92-3355)



## 災害義援金を受付中です

日本赤十字社では、義援金の受付を行っています。市民の皆様からお寄せいただいた義援金は、全額を被災者の方々へお届けしています。引き続き皆様の温かいご支援をお願いします。

- 令和元年台風第19号 松本市受付分 累計額: 226万1,597円 (令和元年11月30日現在)



発行: 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 編集: 「社協まつもと」編集事務局  
住所: 〒390-0833 松本市双葉4番16号 電話: 27-3381 FAX: 27-2239  
E-mail: syakyoum@avis.ne.jp ホームページ http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

『社協まつもと』はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。

©この印刷物は再生紙を使用しています